

2015 年度

事業報告書

2015 年 4 月 1 日から
2016 年 3 月 31 日まで

公益社団法人日本麻酔科学会

法人の概要

日本麻酔科学会の大きな使命は、安全で質の高い医療を提供するための事業活動を通して、国民の健康と福祉の増進に寄与することである。本学会はこの使命を達成するため、これまで麻酔科専門医の育成や国民への啓発をはじめとする種々の取り組みを行ってきた。2011年4月1日に公益社団法人に認定され、本学会の社会貢献の役割が更に明確化されたところである。

本学会の発展と向上のためには、多岐にわたる情報収集と的確な状況把握が不可欠であり、「日本麻酔科学会中期・長期計画」を2008年度に策定、2011年度、2014年度に改定した。それに基づき単年度の事業計画を作成している。

1. 役員 (2016年3月31日現在)

理事長(代表理事) 外 須美夫(理事)

常務理事 稲田 英一(理事(副理事長)) 齋藤 繁(理事) 白石 義人(理事(事務局長))
西脇 公俊(理事) 萬 知子(理事)

理事 上山 博史 牛島 一男 尾崎 眞 川前 金幸 木内 恵子
佐和 貞治 鈴木 利保 鈴木 宏昌 住田 臣造 瀬尾 勝弘
西川 精宣 山蔭 道明 山崎 光章 横山 正尚

監事 西川 俊昭 村川 雅洋 榎田 浩史

2. 代議員 282名 (2016年3月31日現在)

赤塚 正文	赤松 繁	足立 健彦	飯田 宏樹	五十嵐 孝	池田 栄浩	石川 岳彦
石川 輝彦	石黒 芳紀	石田 和慶	出田眞一郎	井関 雅子	磯野 史朗	市川 敬太
伊藤 彰師	稲垣 喜三	稲田 英一	伊良波 浩	岩崎 達雄	上園 晶一	上山 博史
牛島 一男	内田篤治郎	内田 博	内野 博之	梅垣 修	梅田英一郎	江島 豊
枝長 充隆	近江 禎子	大久保和章	大島 正行	大瀬戸清茂	太田助十郎	大坪 俊紀
大西 佳彦	大平 直子	近江 明文	岡 龍弘	岡崎 敦	岡田 俊樹	岡本 浩嗣
於川 勝美	奥田 泰久	奥谷 龍	奥富 俊之	小倉 信	尾崎 眞	小澤 章子
落合 亮一	小野 和身	小幡 英章	甲斐 哲也	貝沼 関志	香川 哲郎	垣花 学
角谷 哲也	角山 正博	風間 富栄	樫本 温	片山 浩	門井 雄司	加藤 孝澄
加藤 道久	香取 信之	金子 武彦	加納 正也	上林 卓彦	辛島 裕士	狩谷 伸享
川上 浩文	川口 昌彦	川崎 孝一	川崎 貴士	川前 金幸	川真田樹人	河本 昌志
管 桂一	神田橋 忠	上村 裕一	菊谷 健彦	北浦 道夫	北川 裕利	北口 勝康
北畑 洋	北村 晶	鬼頭 剛	木内 恵子	金 徹	木山 秀哉	櫛方 哲也
国元 文生	久米田幸弘	倉迫 敏明	黒澤 伸	黒田 昌孝	小坂橋俊哉	小出 康弘
黄 仁謙	小坂 誠	小竹 良文	小林 佳郎	小森万希子	小山 薫	金 正
近藤 修	最首 俊夫	齋藤 繁	齊藤 洋司	坂口 嘉郎	佐藤 健治	佐藤 淳
佐和 貞治	澤井 俊幸	澤村 成史	塩川 泰啓	志賀 達哉	重松次郎昌幸	重見 研司
設楽 敏朗	下田 栄彦	下村 俊行	生野慎二郎	白石 義人	白神豪太郎	進藤 一男
杉浦 健之	杉田 道子	杉本 清治	杉山 和英	鈴木 昭広	鈴木 照	鈴木 健二
鈴木 孝浩	鈴木 健雄	鈴木 利保	鈴木 宏昌	鈴木 康之	角倉 弘行	住田 臣造
瀬尾 勝弘	瀬川 一	関口 芳弘	関山 裕詩	瀬戸 倫義	瀬戸口秀一	芹田 良平
其田 一	祖父江和哉	多賀紀一郎	高雄由美子	高木 敏行	高崎 康史	高澤 知規
鷹取 誠	高橋 利通	高橋 浩	高畑 治	瀧田 恒一	竹内 護	武田 吉正
竹中 元康	田代 雅文	多田 文彦	多田羅恒雄	舘田 武志	田中 克哉	田中 聡
田中 源重	谷口 巧	谷口 正彦	中馬理一郎	張 京浩	津崎 晃一	土田 英昭
恒吉 勇男	角淵 浩央	寺井 岳三	照井 克生	土井 松幸	遠山 一喜	時岡 宏明
土手健太郎	富岡 俊也	中尾 慎一	長尾乃婦子	中川 五男	永田 博文	中塚 逸央
中塚 秀輝	中根 正樹	中野 浩	中村 信一	中村 達雄	中村 正人	中山 英人
成田 昌広	新見 能成	新山 幸俊	西川 精宣	西川 俊昭	西田 修	西村 信哉
西山 友貴	西脇 公俊	新田 俊一	野村 岳志	野村 実	萩平 哲	橋口 清明

橋口 さおり	馬場 知子	馬場 洋	濱口 眞輔	濱田 宏	原 哲也	原武 義和
肥川 義雄	尾藤 博保	日野原 宏	平川奈緒美	廣瀬 宗孝	廣田 和美	広田 喜一
福崎 誠	福重 哲志	福田 和彦	藤井ひとみ	藤野 裕士	藤村 直幸	藤本 一弘
渕上 竜也	外 須美夫	堀口 剛	槇田 浩史	松川 隆	松永 明	松本 重清
松本 晶平	松本美志也	眞鍋 治彦	丸山 一男	水野圭一郎	水本 一弘	溝渕 知司
溝部 俊樹	光畑 裕正	南 敏明	宮田 裕史	宮部 雅幸	村尾 浩平	村上 康郎
村川 雅洋	室園美智博	森 隆	森 美也子	森崎 浩	森田 慶久	森松 博史
森本 裕二	森脇 克行	諸岡 浩明	安田 誠一	山内 正憲	山浦 健	山蔭 道明
山口 重樹	山崎 隆史	山崎 光章	山田 圭輔	山田 達也	山田 徳洪	山田 芳嗣
山本 達郎	山本 智久	横田 美幸	横山 正尚	吉川 大輔	吉田 仁	萬 知子
萬家 俊博	渡辺 裕生					

3. 事業の概要

本学会は、以下の理念を掲げ事業を行う。

公益社団法人日本麻酔科学会（以下、本学会という）は、周術期の患者管理を中心としながら、救急医療、集中治療、疼痛管理、緩和医療などの領域において、患者の命を守り、安全で安心できる医療を提供する。

(1) 質の高い麻酔科医の育成

質の高い麻酔科医とは、周術期管理、侵襲制御、疼痛管理等において優れた知識と技術、およびコミュニケーション能力を有し、チーム医療を中心的に担える者である。本学会は知識や技術、能力を習得するためソフト面およびハード面を整備し、次世代の日本の医療を十分に担う質の高い麻酔科医を多く育成する。

(2) 先進的研究の推進と新たな医療技術の創成

医療において人類の幸福に役立つ新しい知見や技術の創成が重要である。本学会はそのような研究を支援し、得られた発見（知見）や技術、情報を社会に提供する。

(3) 麻酔科医療の啓発

国民が安全で安心できる医療を受けるには、国民に対し麻酔科医療に関する正しい知識や認識を提供する必要がある。本学会は広報活動や日常の診療を通じて国民に麻酔科医が担う医療の役割や重要性を啓発し、その認識を普及させる。また、医学生や研修医に対しても麻酔科関連医療の重要性を啓発し、麻酔科専門医の拡充を図る。

(4) 他領域との協働

患者中心の安全で質の高い医療を供給するために、本学会は他科の医師や看護師、薬剤師、臨床工学技士などのコメディカルと真のチーム医療として周術期管理チームを組織し、それを実践する基盤を確立する。

(5) 国際的な医療連携への貢献

麻酔関連領域における国際的医療水準を高めることは重要である。本学会は世界各国との連携のもとに国際的な医療人の育成や組織作りを推進する。世界麻酔科学会（WFSA）及びアジア・オーストラレーシア地区（AARS）の一員として、とくにアジア地域と人材および知識交流に努める。

4. 事業の区分

理念に基づく事業区分を公益法人申請にあたり、以下の通りとした。

(1) 公益目的事業

公1 麻酔科学の新たな発展のために国内外の先端的研究を奨励・推進・支援し、あわせて国内外の関連学術団体をはじめ関係方面と研究・協力をを行い、もって新しい技術と正しい知識の普及・啓発を図り、その成果を社会に還元する事業（**学術事業・交流事業**）

公2 麻酔科関連業務に関わる者が専門的知識や技術を習得するために、研修ならびに医師、医療従事者及び施設への審査・認定を実施し、あわせて麻酔科関連医療に関わる調査および研究の推進を図り、特に麻酔科関連の事故症例の検証により再発防止に努め、もって社会に安全で良質な医療を提供するための事業（**教育事業・安全事業**）

公3 一般市民が安全で安心できる医療を受けるために、医療に関する正しい知識や認識の向上を図り、さらに麻酔科医が担う医療の役割や重要性を啓発し、普及させる事業（**公益事業**）

(2) 収益事業等

- 収1 医師賠償責任保険, 所得補償保険の加入仲介事業
- 収2 展示出展事業

(3) その他 (管理運営部門)

5. 社員総会・理事会報告

第1回 理事会

- 1. 日 時: 2015年4月29日(水・祝) 14:00~16:30
- 2. 場 所: 日本麻酔科学会 神戸事務局
- 3. 理 事: 20名 監事: 3名
- 4. 出席者: 理事19名 監事1名

第5回 定時社員総会

- 1. 日 時: 2015年5月27日(水) 14:00~15:30
- 2. 場 所: 神戸ポートピアホテル ポートピアホール
- 3. 社員数: 271名
- 4. 理事現在数: 20名
- 5. 理事出席者数: 20名
- 6. 出席者数: 259名 (うち委任状26, 議決権行使書41)

第2回 理事会

- 1. 日 時: 2015年8月21日(金) 13:00~16:45
- 2. 場 所: 日本麻酔科学会 神戸事務局
- 3. 理 事: 20名 監事: 3名
- 4. 出席者: 理事20名 監事3名

第3回 理事会

- 1. 日 時: 2015年11月27日(金) 13:00~17:00
- 2. 場 所: 日本麻酔科学会 神戸事務局
- 3. 理 事: 20名 監事: 3名
- 4. 出席者: 理事19名 監事3名

第4回 理事会

- 1. 日 時: 2016年3月25日(金) 13:00~17:00
- 2. 場 所: 日本麻酔科学会 神戸事務局
- 3. 理 事: 20名 監事: 3名
- 4. 出席者: 理事20名 監事3名

6. 事業報告

(1) 公益目的事業

事業区分にある公益目的事業公1, 公2, 公3にある事業を組織運営上, 委員会に割り振り運営を行った。

公1は, 学術事業, 交流事業であり担当委員会は, 以下の通りである。

- ・学術委員会
- ・国際交流委員会
- ・関連領域検討委員会

公2は, 教育事業, 安全事業であり担当委員会は以下の通りである。

- ・教育委員会
- ・安全委員会
- ・救急心肺蘇生検討委員会

公3は, 公益事業であり担当委員会は以下の通りである。

- ・広報委員会
- ・麻酔博物館事業検討委員会

(2) 収益事業

収1は、医師賠償責任保険、所得補償保険の加入仲介事業を実施した。
収2は、学術集会開催時に附設展示会を実施した。

(3) 管理運営部門

管理運営部門として以下の組織を置き、運営を行った。

- ・総務委員会
- ・財務委員会
- ・倫理委員会
- ・事務局

各委員会の委員長は理事とし、統括として常務理事をおいて運営を行った。以下に各委員会の事業報告の概要を記す。

(1) 公益目的事業

<公1：学術・交流事業>

1) 学術委員会（委員長：山蔭理事 担当常務理事：稲田理事）

【業務内容】

学術委員会は学術事業を担当する。「国内外の先進的研究を奨励・推進・支援し、あわせて国内外の関連学術団体をはじめ関係方面と連携し、新しい技術と正しい知識の普及・啓発を図り、その成果を社会（国民）へ還元する」ことを事業目的とし、中期および短期計画を立案し、その実行にあたる。学術事業戦略は、大きく A. 学術集会運営、B. 機関誌、準機関誌の発行、C. 研究の奨励・推進・支援に分けられる。

【2015年度報告】

2015年度は、年次・支部学術集会に関する事項の検討、2016年度学会賞の応募・審査、JA Clinical Reports創刊に関する検討、日本麻酔科学会主導の臨床研究についての検討等を行った。

★ 委員会回数4回（6月17日、7月31日、11月9日、1月25日）

・学術集会運営

① 第62回学術集会

日 程：2015年5月28日（木）～30日（土）

場 所：神戸ポートピアホテル，神戸国際展示場

会 長：福田 和彦

参加者：9031名

テーマ：「麻酔科学を考え、麻酔の将来を拓く」

※特別演題=1題，会長企画・講演=2題，招待講演=15題，招請講演=16題，シンポジウム=20題，PBLD=8題，委員会企画=12題。

一般演題は1070題の応募があり、学術集会企画専門部会で採否検討をした結果、採択演題数は880題、不採択は188題、応募締切後取り下げ2題、採択率82.2%となった。領域毎で優秀演題等のセッションを実施し、採択演題の内訳は優秀演題が84題、ポスターディスカッション272題、ポスター524題であった。

② 支部の学術集会（各支部で合計6回）

北海道・東北支部第5回学術集会（会長：廣田 和美）

2015年9月12日（土） 於：ホテルニューキャッスル

関東甲信越・東京支部第55回合同学術集会（会長：舘田 武志）

2015年9月5日（土） 於：パシフィコ横浜

東海・北陸支部第13回学術集会（会長：西田 修）

2015年9月5日（土） 於：名古屋国際会議場

第61回関西支部学術集会（会長：横野 諭）

2015年9月5日（土） 於：大阪国際会議場

中国・四国支部第52回学術集会（会長：中塚 秀輝）

2015年9月5日（土） 於：岡山コンベンションセンター
九州麻酔科学会第53回大会（会長：上村 裕一）
2015年9月12日（土） 於：鹿児島サンロイヤルホテル

・機関誌・準機関誌等の発行・頒布、査読編集

①機関誌

「Journal of Anesthesia」誌を隔月刊で6号（Vol. 29-No. 2～Vol. 30-No. 1），約12300部発刊し，会員，官公庁，研究者，国内外の関連する学術団体等に頒布した．同誌はインターネットを媒体として情報を閲覧できるオンラインシステムを構築しており，このシステム上では，より最新の論文を閲覧できる環境を整えている．なお，会員は無料で閲覧可能である．

②準機関誌

「麻酔」誌を月間で12号（Vol. 64-No. 4～Vol. 65-No. 3）発行した．

③学術集会プログラム

公益社団法人日本麻酔科学会第62回学術集会プログラムを発行した．抄録に関しては，会員専用ホームページへ掲載し，プログラム・抄録の閲覧可能な携帯情報端末用アプリを開発した．

・学術研究の奨励，支援

①学術研究の奨励

臨床研究を支援・推進するための検討部会を設置し，学会支援型臨床研究の募集を2016年4月1日から行うことを決定した．

②学術論文雑誌，医療関連雑誌，映像等の収集・集約化

国内外の麻酔科関連分野の学術論文，医療関連の雑誌・映像等を麻酔博物館で収集・集約し，医学・医療について正しく理解できる場を，会員はもとより一般市民やマスメディアに提供した．

③研究業績等の表彰

年次学術集会及び支部学術集会でも最優秀となる演題の選考を行った．また，2015年度学会賞5賞のうち2賞（山村記念賞（該当なし）・青洲賞・若手奨励賞・社会賞（該当者なし）・松木賞（該当なし））の表彰及び記念講演を行い，2016年度学会賞5賞の募集，受賞者の選考を行った．2016年度学会賞5賞について，応募のあった4賞（山村記念賞・青洲賞・若手奨励賞・社会賞）の選考を行い，受賞予定者を以下のとおり決定した．

I．山村記念賞

小嶋 亜希子（滋賀医科大学医学部附属病院麻酔科）

麻酔薬の心筋イオンチャネルの制御機構に関わる分子基盤の解明

II．青洲賞 該当なし

III．若手奨励賞

（基礎）

齋藤 貴幸（順天堂大学医学部附属順天堂医院麻酔科学・ペインクリニック講座 助手）

Resolution of Inflammation by Resolvin D1 Is Essential for Peroxisome Proliferator-activated Receptor- γ -mediated Analgesia during Postincisional Pain Development Type 2 Diabetes

（臨床）

石田 高志（信州大学医学部麻酔蘇生学教室 診療助教）

McGRATH® MAC Video-laryngoscope for insertion of a transoesophageal echocardiography probe: a randomised controlled trial

中山 力恒（京都府医科大学麻酔科学教室 助教）

トロンボエラスメトリーを用いた術中止血管理は小児心臓外科手術における術後出血量及び術後輸血量を減少させる

IV. 社会賞 応募なし

V. 松木賞 該当なし

2) 国際交流委員会 (委員長：横山理事 担当常務理事：萬理事)

【業務内容】

国際交流委員会は「国際的医療連携への貢献」に関連する交流事業戦略の国際交流部門を担当し、その中期および短期計画を立案，実行にあたる。

【2015 年度報告】

2015 年度は、第 3 回東アジア麻酔科学会講師派遣，第 3 回東アジア麻酔科学会 General Assembly 出席，海外留学生受入事業の実施および次年度計画，2015 年度 Pacific Refresher Course への講師派遣，第 62 回学術集会での国際交流委員会企画「海外に目を向けよう：留学のススメ」実施，第 63 回学術集会開催時の国際交流委員会企画検討，バングラデシュ国費留学生留学先施設推薦，WFSA Annual Report 作成，提出を行った。

★ 委員会回数 2 回 (5 月 28 日，10 月 22 日)

- ・ WFSA (世界麻酔学会連合)
理事および各種委員会委員を派遣した。
- ・ WFSA アジア・オーストラレーシア支部 (AARS)
Treasurer として，本学会会員である大嶽浩司氏を派遣した。
- ・ 海外留学生受け入れ
海外からの留学生受入事業を実施，以下の 14 名の受け入れ研修を行い，各留学生の受け入れ施設を募集した。

氏名	国名	受入施設	受入れ期間
Thanaphirat Mamaethong	Thailand	獨協医科大学病院	2015 年 4 月 1 日～6 月 26 日
Panteera Rungsiriwitun (Euaraksakul)	Thailand	名古屋大学医学部附属病院	2015 年 5 月 14 日～7 月 29 日
Quang tran Nguyen	Vietnam	京都府立医科大学	2015 年 5 月 7 日～7 月 31 日
Apurb Sharma	Nepal	神戸大学医学部附属病院	2015 年 6 月 1 日～7 月 31 日
Soyombo Orsoo	Mongolia	福島県立医科大学付属病院	2015 年 6 月 1 日～8 月 29 日
Bidur Kumar Baral	India	札幌医科大学医学部付属病院	2015 年 6 月 3 日～8 月 31 日
Manish M Kela	Nepal	信州大学医学部	2015 年 6 月 1 日～7 月 31 日
Hem Vannarith	Cambodia	埼玉県立小児医療センター	2015 年 6 月 3 日～8 月 31 日
Mohammed Meesam Rizvi	India	横浜市立大学附属 市民総合医療センター	2015 年 7 月 1 日～9 月 28 日
Khine Zar Hla Myint	Myanmar	昭和大学大学病院	2015 年 7 月 3 日～9 月 30 日
Yi Mon Aung	Myanmar	北海道大学病院	2015 年 7 月 31 日～10 月 28 日
Odgerel Boldbaata	Mongolia	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科	2015 年 8 月 1 日～10 月 29 日
Dimas Rahmatisa	Indonesia	滋賀医科大学医学部 付属病院	2015 年 8 月 24 日～9 月 13 日
Sindhu Khatiwada	Nepal	九州大学病院	2015 年 10 月 17 日～11 月 30 日

3) 関連領域検討委員会 (委員長・担当常務理事：白石理事)

【業務内容】

関連領域検討委員会は、「他領域と協働する医療」に関連する交流事業戦略の関連領域部門を担当し，その中期および短期計画を立案，実行にあたる。活動範囲は，集中治療，疼痛治療，緩和医療など麻酔科関連領域部門との関わりについての検討である。

【2015 年度報告】

2015 年度は，第 62 回学術集会関連領域検討委員会企画「麻酔科医の次のステップ～より専門的な資格獲得～」を実施，第 63 回学術集会関連領域検討委員会企画の企画検討を行った。手

術室外の小児緊急気道確保についてのアンケートを行った。

★ 委員会回数 1 回 (5 月 28 日)

<公2：教育・安全事業>

1) 教育委員会 (委員長・担当常務理事：稲田理事)

【業務内容】

教育委員会は教育事業を担当する。学会理念の 1 項に掲げる「質の高い麻酔科医の育成」のため、認定医・専門医・指導制度および認定病院など教育機関の充実を図る。専門医、指導医および認定施設の認定および更新の審査は明確な基準を設けてこれを行う。高度な知識、判断力、技術を向上、維持するための研修や自己学習の機会を提供する環境を整備する。

【2015 年度報告】

2015 年度は、各種資格の認定審査、新認定制度の検討、2015 年度リフレッシュコースの実施、2016 年度リフレッシュコースの検討、日本専門医機構専門医新規・更新基準運用の検討、認定審査委員会関連審議等を行った。

★委員会会議開催回数 3 回 (7 月 16 日, 9 月 15 日, 1 月 15 日)

・教育プログラム等の策定

麻酔科医の生涯教育としての段階的目標を掲げ、その達成のための再教育プログラムの提供を行い、それによって均質な医療水準の維持と普及をはかる。研修医の教育体制として、2015 年度より開始した学会認定専門医研修プログラムについて、2016 年度の研修プログラムの認定審査および、運用細部の検討を行った。また、今後、専門医制度が日本専門医機構に移管することから、日本専門医機構認定専門医の認定基準について検討を行った。

・麻酔業務に関わる医師、医師以外、ならびに施設の審査・認定

所定の内規に則り下記資格ならびに施設を認定した。

①認定医等の新規認定、資格試験の実施

2015 年度は、2015 年 4 月・8 月・12 月の計 3 回認定審査を行い、2015 年度新規認定医審査合格者数は 454 名となった。

第 1 回申請者：267 名 合格者：267 名 (2015 年 4 月 1 日認定)

第 2 回申請者：68 名 合格者：68 名 (2015 年 8 月 1 日認定)

第 3 回申請者：101 名 合格者：101 名 (2015 年 12 月 1 日認定)

認定医再認定審査は上記新規認定医審査と同時に行い、合格者は 12 名となった。

第 1 回申請者：1 名 合格者：1 名 (2015 年 4 月 1 日認定)

第 2 回申請者：17 名 合格者：16 名 (2015 年 8 月 1 日認定)

第 3 回申請者：1 名 合格者：1 名 (2015 年 12 月 1 日認定)

②新規専門医

2015 年 9 月 27 日・10 月 1 日・2 日、第 54 回麻酔科専門医認定試験が実施された。

9 月 27 日：筆記試験 (会場：TOC 有明・神戸国際展示場)

10 月 1 日・2 日：口頭試験・実技試験 (会場：神戸ポートピアホテル)

受験者総数：526 名

新規認定専門医 (3 科目合格者) 数：426 名

筆記受験者数：467 名 合格者：420 名 合格率：89.9%

口頭受験者数：486 名 合格者：438 名 合格率：90.1%

実技受験者数：442 名 合格者：414 名 合格率：93.7%

③新規指導医

2015 年 11 月 2 日、2015 年度麻酔科指導医新規認定の審査会が開催された。麻酔科指導医新規認定者は 166 名となった。

④新規認定病院

2015 年度は、3 回認定審査を行い、2015 年度新規認定病院数は 60 施設となった。

第 1 回申請施設：17 施設 合格施設：17 施設 (2015 年 4 月 1 日認定)

第 2 回申請施設：16 施設 合格施設：16 施設 (2015 年 8 月 1 日認定)

第 3 回申請施設：27 施設 合格施設：27 施設 (2015 年 12 月 1 日認定)

⑤認定医等の資格更新審査

2015年12月22日、2015年度麻酔科指導医更新者の審査会が開催され、麻酔科指導医更新者は480名(2016年3月31日時点)となった。2016年1月26日、2015年度麻酔科専門医更新者の審査会が開催され、麻酔科専門医更新者は647名(2016年3月31日時点)となった。また2016年2月12日麻酔科認定医更新申請者の審査会が開催され、認定医更新者は208名(2016年3月31日時点)となった。

指導医更新者：480名	暫定指導医認定：8名
専門医更新者：647名	暫定専門医認定：20名
認定医更新者：208名	暫定認定医認定：4名

⑥認定病院更新

麻酔科認定病院更新申請施設 591施設 (内、591施設の認定)

⑦麻酔科専門医研修プログラム

麻酔科専門医研修プログラム：更新申請数:174プログラム	合格施設：172プログラム
麻酔科専門医研修プログラム：新規申請数:5プログラム	合格施設：5プログラム

⑧周術期管理チーム認定資格新規審査

2015年度より麻酔科医と共に周術期業務に従事する多職種(看護師、薬剤師、臨床工学技士(非会員))について、実務経験、所定の教育効果を測る目的で周術期管理チーム認定制度を開始、検討を行った。2015年度については看護師を対象に5月15日～6月末日に認定申請受付、7月～9月に書類審査、11月21日に筆記試験を行い、以下の通り認定をした。

新規申請者数	：974名
書類審査合格者	：869名
筆記受験者数	：847名
合格者数	：802名
認定者数	：801名 (2016年4月1日認定)

筆記試験開催概要

日 程：2015年11月21日

会 場：有明 TOC (東京会場)、神戸ポートピアホテル(神戸会場)

・生涯教育・研修

質の高い麻酔科医の育成のため、周術期管理、救急、集中治療、ペインクリニック、緩和医療等、危機管理、最新のトピックスについての新しい知識の定着を目的とした教育講座を開催している。現在までに計13回の開催実績があり、受講者は1回につき1000名を超えている。従来は麻酔科専門医試験受験者を対象とした内容であったが、2011年度からは麻酔科専門医取得済みの麻酔科医も対象とし、開催コース数を拡大している。2015年度は計45コース開催した。こちらについて2015年度より録画を行い、その内容を会員がe-Learningとして受講できるようにした。

・教育普及

麻酔科関連医療が十分普及していない諸外国において、教育講座等を開催し、周術期(手術前・中・後)の麻酔科業務について協働する医療従事者の教育を行い、その成果を当該国の社会に還元している。

チーム医療推進のために看護師、薬剤師、臨床工学技士を対象としたセミナーを年次学術集会、支部学術集会(6支部)と併催する形で開催した。2015年度は2014年度に引き続き周術期管理チームの一員である看護師を対象に認定を行い、認定資格試験の解説本の作成、周術期管理チームテキスト第3版発行に向けての検討、周術期管理チームの実態調査について検討した。さらに、2016年度認定に向けてチーム薬剤師認定の検討、日本病院薬剤師会との意思確認を行った。

また、蘇生教育として心肺蘇生法を個人・団体に提供できるよう医師、医療従事者の教育と指導者の養成を行い、関西支部においては主として若手医師を対象とした症例検討会を年3回開催した。

2) 安全委員会 (委員長：瀬尾理事 担当常務理事：西脇理事)

【業務内容】

安全委員会は、麻酔および周術期医療に必要なリスクマネジメントに関する事項について検討する安全事業戦略を担当する。安全な麻酔の施行に必要な調査および情報収集を行い、さらに質の高い安全な麻酔のためのガイドライン作成やマニュアルの策定を主導する。安全事業戦略は、大きく4つの部門、統計調査・情報収集部門、麻酔関連機器部門、薬剤および麻酔手技部門、リスクマネジメント部門に分けられる。

【2015年度報告】

2015年度は、各種ガイドライン、指針の改訂・作成・検討、各種調査の実施、麻酔機器不具合・薬剤情報対応についての検討、委員派遣の検討、その他審議事項についての検討、団体医師賠償責任保険案内の送付等を行った。

★ 委員会回数4回(5月16日、7月25日、11月3日、2月11日)

・麻酔科関連医療の安全性の担保

医療事故再発防止のため、麻酔科関連分野に関わる事故が発生した際、速やかに検証を行い、適宜、対応について検討している。麻酔関連医療機器及び器具の故障情報について、会員および企業から得た情報に関し、企業にヒアリングを行い、使用上の注意喚起を会員向けニュースレター及びホームページに掲載した。搬送時に使用する小型酸素ボンベと二酸化炭素ボンベの誤認事故防止対策については、日本医療ガス学会、日本産業・医療ガス協会と合同で、事故防止に関する第2回提言を作成した。また、ヘルシンキ議定書への調印を行った。

・各種調査の実施

①麻酔関連偶発症例調査

偶発症例調査2015(2015.1.1~2015.12.31):麻酔科認定病院1329施設を対象に行った。調査結果は2016年に解析を行い、公表予定である。

②麻酔関連機器故障情報調査

麻酔関連機器で故障が発生した場合、あるいは規格自体に問題がある機器に関して常時窓口を設け、ホームページを通じて常に情報を収集し、即時にフィードバックした。

③Closed Claims Projectの推進と研究

団体契約を結んでいる保険会社から得たデータを分析し、予防策を普及した。普及策として、2015年度版の『医療紛争ゼロを目指して』という冊子を作成し、配布した。

④周術期肺血栓塞栓症発症例調査

わが国における周術期肺血栓塞栓症の発生状況、予防法、治療法等に関して現状を把握するために、日本麻酔科学会認定病院1329施設において、2015年の周術期肺血栓塞栓症に関するアンケート調査を行なった。

⑤悪性高熱症例の状況調査

わが国における悪性高熱症例の状況に関して現状を把握するために、日本麻酔科学会認定病院1329施設において、アンケート調査を行なった。

・リスクマネジメント

本学会年次学術集会で感染対策、手術安全に関するシンポジウムを実施した。実績を重ねICD制度協議会への加盟申請を行った。

・各種ガイドライン、指針の改訂・作成・検討

麻酔器始業点検、気道確保ガイドライン日本語版、医薬品ガイドラインの一部改定を行った。また、薬剤シリンジラベルに関する提言、周術期禁煙ガイドラインの英語論文化および、医療従事者向けの禁煙啓発ポスターの作成を行った。その他、悪性高熱症ガイドラインの作成、中心静脈カテーテル挿入の手引きの改訂を次年度も引き続き行う。

<公3:公益事業>

1) 広報委員会(委員長・担当常務理事:萬理事)

【業務内容】

広報委員会は公益社団法人としての本学会の目的を念頭に置き、本学会の活動を広く社会及び本学会会員に広報する普及啓発事業戦略を担当する。本学会の社会的活動の推進を図ることを目的に中期及び短期計画を立案し、その実行に当たる。活動の対象は一般社会、各種マスコミ、会員、臨床研修医、医学生、及び関係各省庁に分けられる。

【2015年度報告】

2015年度は、後期研修医向けパンフレットの増刷、配布、一般市民向けHP維持、新聞広告を用いた普及啓発、第62回学術集会医学生・臨床研修医（初期）招待企画の実施、一般の方・メディアからの問い合わせ対応、ニューズレターの企画・校正・発刊、手術を受ける方のための麻酔に関する説明冊子「麻酔のしおり」350,000部印刷286,841部販売等を行った。

★委員会回数5回（7月5日、8月16日、12月20日、1月31日、3月13日）

- ・医療全般、医療事故等の相談窓口（医療に関する相談）
一般市民からの麻酔科関連医療に関する質問を電子メール、文書等で受け付け回答した。
- ・メディア戦略の検討・実施（メディア戦略）
取材協力、ニュースリリースの配布などを積極的に実施し、後期研修医向けパンフレット「麻酔科医以外の医師は、なぜ、子供に麻酔科をすすめるのか？」の増刷、一般市民向けHP「麻酔科医ってどうなの」のクイズ新コンテンツ作成を通じて広く社会に麻酔科関連医療を正しく理解してもらうための活動を行った。
- ・会員・市民への出版物発行（出版物発行）
一般市民向けにわかりやすく麻酔について解説した「麻酔のしおり」を増刷し、全国の医療施設に286,841部（2016年3月31日時点）販売した。
- ・市民へのセミナー、シンポジウム等の開催（啓発）
一般市民向けの教育講座を開催し、麻酔科関連医療について正しい知識と認識を普及させる。今日の麻酔科関連医療が確立されるまでの歴史的展示物を公開している麻酔博物館への来館者に現在の麻酔および麻酔の歴史を解説した。2015年度は811名（2016年3月31日時点）が来館した。
- ・公益社団法人日本麻酔科学会ニューズレターを4号（Vol.23-No.2～Vol.24-No.1）発行した。
関西支部：近畿麻酔科医界第64号（10月）、第65号（2月）を発行
九州支部：年報39号を発行

2) 麻酔博物館事業検討委員会（委員長：木内理事 担当常務理事：齋藤理事）

【業務内容】

麻酔博物館は、主に一般社会、会員を対象とした普及啓発事業を担当する。麻酔科学発展の足跡となる資料の収集・保存と、展示による啓発を目的に中期および短期計画を立案し、その実行に当たる。活動の内容は、資料収集・整理・保存、企画運営、広報・交流活動、機器史料展示に分けられる。

【2015年度報告】

2015年度は、麻酔科学史国際シンポジウム（ISHA2021）の開催誘致についての検討、第63回学術集会麻酔博物館特別展示についての検討、名誉会員へのインタビュー動画撮影、第61回学術集会委員会企画 山村氏対談文字起こし・麻酔投稿、所蔵書籍の整理と検討、書籍・機器寄贈受け入れの実施、所蔵データ登録等を行った。

★委員会回数2回（8月2日、2月7日）

- ・今日の医療が確立されるまでの歴史的展示物を公開、最新機器を展示・收藏。2015年度は811名（2016年3月31日時点）の来館者があった。

(2) 収益事業

<収1>

医師賠償責任保険と所得補償保険の団体加入契約を、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、三井住友海上保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社と締結し、その仲介事務事業を行った。

<収2>

第 62 回学術集会 (2015 年 5 月 28 日～30 日) 開催, 9 月の第 1 週～第 2 週に各支部学術集会開催時に, 医療機器, 医薬品, 検査機器, 医療情報示説, 書籍等を対象として出展を実施し, 本学会は展示小間を提供した。

(3) その他 (管理運営部門)

1) 総務委員会 (委員長・担当常務理事: 齋藤理事)

【業務内容】

学会理念達成のため, 麻酔科診療発展・医療貢献事業戦略, 社会保険における麻酔科診療の評価の見直しおよび麻酔科医の労働環境の改善・整備に関する事業戦略を担当し, 学会組織に係わる事項, すなわち組織運営に関する事項, 会則検討に関する事項を担当する。

【2015 年度報告】

2015 年度は, 会則検討部会では会則の検討, 社会保険部会では平成 28 年度診療報酬改定要望への取り組み, 標榜医制度見直し検討 WG では厚生労働省と適宜面会を行い標榜医制度の方向性を検討, 新専門医制度詳細検討プロジェクトでは新専門医制度の課題対策検討を主として活動した。女性枠代議員・女性枠理事導入についての広報活動, 女性理事候補者資格変更の検討, 医療事故取り扱いに関する声明検討, 2016 年度名誉会員候補者の審査などを実施した。また, 関連団体会議に出席し, 交渉・審議事項等について対応を行った。

★ 委員会開催回数 2 回 (5 月 29 日, 2 月 13 日)

2) 財務委員会 (委員長・担当常務理事: 西脇理事)

【業務内容】

学会理念達成のための事業計画遂行には, 学会の財務基盤の長期的安定が必須である。財務委員会は適切な事業計画作成を可能とするために, 過去の予算案, 決算書, 財務管理の実績と現状分析, および将来的予測から, 正確な資金計画をたてる。学会の円滑な業務執行を可能にするために, 健全な財務状況を維持するような計画を立案する。

【2015 年度報告】

2015 年度は, 2014 年度決算についての検討, 2015 年度各月月締め決算検討, 2015 年度上半期決算についての検討, 2015 年度暫定決算についての検討, 2016 年度予算についての検討を主に行った。その他に, 第 62 回学術集会暫定決算についての検討, 中長期財務計画・長期的支出削減案についての検討, 支部学術集会運営予算規模についての検討, 華岡青洲記念碑建立建設費についての検討, 旅費規程の見直しについての検討, 日本医療安全調査機構助成金支援についての検討, 新専門医制度 財務的視点(財務的試算)の確認, 北海道東北支部セミナー企画の検討, 周術期セミナーの収支及び周術期管理チーム事業の収支に関する確認などを実施した。

★ 委員会開催回数 10 回 (4 月 21 日, 6 月 19 日, 7 月 21 日, 8 月 17 日, 10 月 21 日, 11 月 20 日, 12 月 15 日, 1 月 20 日, 2 月 17 日, 3 月 23 日)

3) 倫理委員会 (委員長: 鈴木利保理事, 担当常務理事: 齋藤理事)

【業務内容】

倫理委員会は, 学会理念に基づく事業を遂行する上で問題となる倫理的事項について検討する。学会や会員に関わる倫理的問題が生じた場合, その処分を含む対応について検討する。

【2015 年度報告】

学会が実施する調査および研究について, 立案した各委員会からの申請に基づき, 倫理的問題の有無について審査した。2015 年度は, アンケートの倫理審査申請書 11 件 (第 14 回リフレクチャーコースアンケート, 第 62 回学術集会アンケート, 博物館特別展示アンケート, 周術期管理チーム委員会 施設実態調査, 悪性高熱症アンケート, 手術室外の小児緊急気道確保についてのアンケート, 悪性高熱症例アンケート, 偶発症例調査アンケート, 肺塞栓調査アンケート, 臨床効果データベース事業, 術後鎮痛に関する実態調査アンケート) の審査, 対応を行った。また, 偶発症例(肺塞栓)調査実施前に施設の倫理委員会での審査を任意で行うよう通知した。

★ 委員会回数 2 回(4 月 23 日, 8 月 14 日)

・調査特別委員会の設置

学会の名誉および社会的信用に影響を及ぼすおそれがある行為をなしたと疑いのある会員および施設での行為 2 件について, それぞれ調査特別委員会を設置し, その事実の有無, 内容, 程度, 状況等を調査した。

4) 事務局 (事務局長・担当常務理事: 白石理事)

定款に本学会の事務を処理するために事務局を設置する、と規定されるとともに、事務局長は理事の中から理事会が選任すること、事務長及び所要の職員を置くこと、と規定されている。

【2015 年度報告】

2015 年度は、2014 年・2015 年度事業報告についての検討、中期・長期事業計画の検討、2015・2016 年度事業計画についての検討を行った。他に 2015 年度上半期事業監査、支部学術集会運営についての検討、新入会審査基準についての検討、職員採用計画と給与体系についての検討、職員勤務状況についての確認、入会時歯科医師申請者の施設 HP 掲載事項についての検討、転載許諾に関するルール策定、北海道東北支部セミナー企画の検討、周術期管理チーム認定制度の運営や会計処理の在り方についての検討などを実施した。

★ 会議開催回数 4 回（4 月 29 日、8 月 12 日、12 月 5 日、3 月 10 日）

5) その他

・登録・派遣

日本学術会議、日本医師会、日本医学会、厚生労働省医道審議会標榜医審査会、日本専門医機構、大学評価・学位授与機構、外科系医学会社会保険委員会連合、外科関連学会協議会、日本救急医療財団、日本蘇生協議会、3 学会合同呼吸療法士認定委員会、医療機能評価機構、日本骨髓バンク、日本臓器移植ネットワーク、全国 MC 協議会、全国医療安全共同行動、日本歯科麻酔学会、禁煙学術ネットワーク、WFSA、AARS 等に委員を派遣し、各々の目的と事業に合わせ連携・協力した。

・各種学術集会協賛・後援

関連協力団体の学術集会および講習会、市民公開講座等を協賛・後援を行った。

7. 2015 年度委員会委員等一覧

<事務局>担当常務理事：白石 義人

事務局長：白石 義人

事務局：足立 健彦 上山 博史 森崎 浩

アドバイザー：工藤 一大 多田 恵一 増田 純一

神戸事務局

東京事務所

[ハラスメント対策室]

室長：木内 恵子

委員：鈴木 健二

オブザーバー：顧問弁護士

<常置委員会>

【総務委員会】担当常務理事：齋藤 繁

委員長：齋藤 繁

副委員長：尾崎 眞

副委員長：鈴木 宏昌

委員：小坂橋俊哉 佐藤 哲文 竹内 護 谷口 巧 土田 英昭

[社会保険部会]

部会長：落合 亮一

部会員：岩瀬 良範 寺嶋 克幸 森崎 浩 横田 美幸

[会則検討部会]

部会長：齋藤 繁

部会員：河本 昌志 鎮西美栄子 前原 康宏

[渉外活動検討部会]

部 会 長：土田 英昭
部 会 員：落合 亮一 小板橋俊哉 中塚 秀輝 萬 知子

[標榜医制度見直し検討ワーキンググループ]

W G 長：落合 亮一
メ ン バ ー：稲田 英一 大嶽 浩司 澤 智博 白石 義人 山田 芳嗣
オブザーバー：齋藤 繁

[新専門医制度詳細検討プロジェクト]

P J 長：齋藤 繁
メ ン バ ー：稲田 英一 西脇 公俊 山蔭 道明

【財 務 委 員 会】担当常務理事：西脇 公俊
委 員 長：西脇 公俊
副 委 員 長：足立 健彦
委 員：藤野 裕士 森崎 浩

【倫 理 委 員 会】担当常務理事：齋藤 繁
委 員 長：鈴木 利保
副 委 員 長：牛島 一男
委 員：北村 晶 世良田和幸 山口 重樹

【学 術 委 員 会】担当常務理事：稲田 英一
委 員 長：山蔭 道明
副 委 員 長：山崎 光章
委 員：浅井 隆 垣花 学 川真田樹人 小竹 良文
福田 和彦 山浦 健 山田 芳嗣

◆会長1名・副会長2名

会 長：福田 和彦
副 会 長：外 須美夫
副 会 長：土田 英昭

[第63回学術集会実行委員会]

委 員 長：外 須美夫
副 委 員 長：土田 英昭
委 員：磯野 史朗 内野 博之 奥富 俊之 辛島 裕士 川股 知之
坂口 嘉郎 藤野 裕士 森松 博史 山浦 健

[第64回学術集会実行委員会]

委 員 長：土田 英昭
副 委 員 長：河本 昌志
委 員：磯野 史朗 内野 博之 大嶽 浩司 小川 真生 奥富 俊之
川股 知之 坂口 嘉郎 藤野 裕士 森松 博史 山浦 健

◆ 第63回学術集会循環ワーキンググループ

W G 長：山浦 健
メ ン バ ー：北川 裕利 金 信秀 田中 克哉 原 哲也 山崎 光章

◆ 第63回学術集会呼吸ワーキンググループ

W G 長：磯野 史朗
メ ン バ ー：大塚 将秀 甲斐 哲也 木山 秀哉 車 武丸 鈴木 昭広

◆ 第 63 回学術集会神経ワーキンググループ

W G 長：内野 博之

メンバー：垣花 学 倉田 二郎 坪川 恒久 松本美志也 山口 重樹

◆ 第 63 回学術集会小児・産科ワーキンググループ

W G 長：奥富 俊之

メンバー：上山 博史 何 廣頤 蔵谷 紀文 照井 克生 水野圭一郎

◆ 第 63 回学術集会ペイン緩和・局所麻酔ワーキンググループ

W G 長：川股 知之

メンバー：住谷 昌彦 橋口さおり 長谷川麻衣子 服部 政治 溝渕 知司
南 敏明 山本 達郎

◆ 第 63 回学術集会救急・ICU ワーキンググループ

W G 長：藤野 裕士

メンバー：垣花 泰之 川前 金幸 祖父江和哉 谷川 攻一 長谷 敦子

◆ 第 63 回学術集会麻酔科関連ワーキンググループ

W G 長：森松 博史

メンバー：稲垣 喜三 佐藤 健治 讃岐美智義 鈴木 孝浩 多田羅恒雄
尾頭希代子 萬 知子

◆ 第 63 回学術集会麻酔全般ワーキンググループ

W G 長：坂口 嘉郎

メンバー：川口 昌彦 澤 智博 白石 義人 西川 精宣 西脇 公俊

◆ 第 64 回学術集会循環ワーキンググループ

W G 長：山浦 健

メンバー：北川 裕利 田中 克哉 中島 芳樹 原 哲也 山崎 光章

◆ 第 64 回学術集会呼吸ワーキンググループ

W G 長：磯野 史朗

メンバー：大塚 将秀 甲斐 哲也 木山 秀哉 車 武丸 鈴木 昭広

◆ 第 64 回学術集会神経ワーキンググループ

W G 長：内野 博之

メンバー：垣花 学 倉田 二郎 田辺久美子 坪川 恒久 山口 重樹

◆ 第 64 回学術集会小児・産科ワーキンググループ

W G 長：奥富 俊之

メンバー：大瀧 千代 何 廣頤 川名 信 照井 克生 水野圭一郎

◆ 第 64 回学術集会ペイン緩和・局所麻酔ワーキンググループ

W G 長：川股 知之

メンバー：天谷 文昌 住谷 昌彦 高雄由美子 橋口さおり 服部 政治
濱田 宏 南 敏明

◆ 第 64 回学術集会救急・ICU ワーキンググループ

W G 長：藤野 裕士

メンバー：今泉 均 川前 金幸 谷口 巧 谷川 攻一 長谷 敦子

◆ 第 64 回学術集会麻酔科関連ワーキンググループ

W G 長：森松 博史

メンバー：片山 勝之 佐藤 健治 讃岐美智義 白神豪太郎 尾頭希代子
 萬 知子 萬家 俊博

◆ 第64回学術集会麻酔全般ワーキンググループ

WG 長：坂口 嘉郎

メンバー：北村 晶 澤 智博 重見 研司 徳嶺 讓芳 西川 精宣
 宮部 雅幸

[学術研究推進専門部会]

部会長：川真田 樹人

部会員：浅井 隆 内田篤治郎 落合 亮一 垣花 泰之 川口 昌彦
 藤野 裕士 増井 健一 森松 博史

[麻酔科学用語専門部会]

部会長：小竹 良文

部会員：江木 盛時 鈴木 孝浩 角倉 弘行 益田 律子

[機関誌専門部会]

部会長：山蔭 道明

部会員：磯野 史朗 市瀬 史 上村 裕一 齋藤 繁 照井 克生
 土田 英昭 橋本 悟 廣田 和美 平田 直之

[Journal of Anesthesia Editorial Board]

Editor-in-Chief：廣田 和美

Section Editor：浅井 隆 井上莊一郎 江木 盛時 小田 裕 垣花 学
 川口 昌彦 蔵谷 紀文 齋藤 繁 角倉 弘行 山蔭 道明
 山本 達郎

[Journal of Anesthesia Clinical Reports Editorial Board]

Editor-in-Chief：山蔭 道明

Section Editor：浅井 隆 磯野 史朗 井上莊一郎 江木 盛時 小田 裕
 垣花 学 角倉 弘行 川口 昌彦 上村 裕一 齋藤 繁
 照井 克生 土田 英昭 橋本 悟 平田 直之 廣田 和美
 山本 達郎

〔「麻酔」編集会議〕

委員：浅井 隆 稲田 英一

【国際交流委員会】担当常務理事：萬 知子

委員長：横山 正尚

副委員長：川前 金幸

委員：大嶽 浩司 奥富 俊之 垣花 学 齋藤 洋司 萬 知子

[英語ホームページリニューアル専門部会]

部会長：齋藤 洋司

部会員：浅井 隆 大嶽 浩司

【関連領域検討委員会】担当常務理事：白石 義人

委員長：白石 義人

副委員長：住田 臣造

委員：有村 敏明 橋本 悟 細川 豊史

オブザーバー：工藤 一大

[集中治療領域検討部会]

部 会 長：橋本 悟
部 会 員：内野 博之 貝沼 関志 山口 修

[ペイン・緩和領域検討部会]

部 会 長：細川 豊史
部 会 員：岡本健一郎 月山 淑 橋口さおり 服部 政治

[救急領域検討部会]

部 会 長：有村 敏明
部 会 員：足立 健彦 清水 直樹 武田 吉正 田勢長一郎
多田 恵一 谷川 攻一 谷口 巧 中川 隆
外 部 委 員：坂本 哲也 野々木 宏

◆ ECC 講習会支部担当責任者ワーキンググループ

W G 長：田勢 長一郎
メ ン バ ー：石川 雅巳 伊関 憲 今泉 均 漢那 朝雄 境田 康二
間瀬 則文 水本 一弘
オブザーバー：多田 恵一

◆ 救急救命士の気管挿管実習の現状と今後を考えるワーキンググループ

W G 長：多田 恵一
メ ン バ ー：川前 金幸 谷川 攻一 西脇 公俊 森崎 浩

【教育委員会】担当常務理事：稲田 英一

委 員 長：稲田 英一
副 委 員 長：佐和 貞治
委 員：上園 晶一 大江 容子 川口 昌彦 上村 裕一
北口 勝康 鈴木 康之 高田 真二 松永 明
オブザーバー：工藤 一大

◆ 専門医研修プログラム検討ワーキンググループ

W G 長：大嶽 浩司
メ ン バ ー：足立 健彦 上村 裕一 水本 一弘 森松 博史 山口 重樹
オブザーバー：稲田 英一

◆ シミュレーションセンターワーキンググループ

W G 長：上村 裕一
メ ン バ ー：尾原 秀史 下出 典子 中島 芳樹 二階 哲朗 水本 一弘

◆ 産科麻酔検討ワーキンググループ

W G 長：奥富 俊之
メ ン バ ー：加藤 里絵 角倉 弘行 照井 克生

◆ 小児麻酔検討ワーキンググループ

W G 長：木内 恵子
メ ン バ ー：大畑 淳 香川 哲郎 鈴木 康之

◆ 心臓麻酔検討ワーキンググループ

W G 長：野村 実
メ ン バ ー：小出 康弘 竹内 護 山田 達也

[認定審査委員会]

委 員 長：稲田 英一
副 委 員 長：内野 博之 大嶽 浩司 北口 勝康 佐和 貞治

[第1部会(専門医認定)]

部会長:佐和 貞治

(専門医認定) 木内 恵子 小板橋俊哉 重見 研司 山口 重樹

(筆記試験) 松本 美志也 (問題作成責任者)

大塚 将秀 川股 知之 坂口 嘉郎 澤村 成史 祖父江和哉

田中 克哉 恒吉 勇男 橋口さおり 尾頭希代子 藤野 裕士

溝渕 知司 萬 知子

オブザーバー:岡本 浩嗣

(口頭試験) 山口 重樹 (問題作成責任者)

北野 敬明 木山 秀哉 佐藤 暢一 鈴木 孝浩 鈴木 康之

間宮 敬子 山浦 健

(実技試験) 廣瀬 宗孝 (問題作成責任者)

小澤 章子 合谷木 徹 濱田 宏 原 哲也 水本 一弘

オブザーバー:西川 精宣

(当日試験官) 足立 健彦 伊吹 京秀 上山 博史 牛島 一男 内野 博之
 大塚 浩司 大塚 将秀 近江 禎子 小澤 章子 小幡 英章
 甲斐 哲也 川口 昌彦 川崎 貴士 川前 金幸 川股 知之
 北口 勝康 北野 敬明 木山 秀哉 櫛方 哲也 桑迫 勇登
 小板橋俊哉 合谷木 徹 小森万希子 坂口 嘉郎 佐藤 健治
 佐藤 暢一 佐和 貞治 澤村 成史 白神豪太郎 鈴木 孝浩
 鈴木 康之 瀬川 一 祖父江和哉 高雄由美子 田中 克哉
 谷口 巧 津崎 晃一 恒吉 勇男 戸田雄一郎 中島 芳樹
 西川 精宣 西村 欣也 西脇 公俊 丹羽 康則 橋口さおり
 濱田 宏 原 哲也 尾頭希代子 広田 喜一 福田 妙子
 藤野 裕士 坊垣 昌彦 松永 明 松本美志也 間宮 敬子
 水本 一弘 溝渕 知司 南 ゆかり 森松 博史 山浦 健
 山口 重樹 萬 知子 萬家 俊博 杉田 道子 枝長 充隆
 紙谷 義孝 廣瀬 宗孝 田中 聡 加藤 里絵 福田 和彦

[第2部会(指導医認定)]

部会長:内野 博之

部会員:飯田 宏樹 北口 勝康 寺嶋 克幸

[第3部会(認定医,認定施設認定)]

部会長:鈴木 康之

部会員:小川 幸志 森崎 浩 横山順一郎

[第4部会(研修プログラム認定)]

部会長:大塚 浩司

部会員:香取 信之 鈴木 健二 藤野 裕士 森松 博史

【安全委員会】担当常務理事:西脇 公俊

委員長:瀬尾 勝弘

副委員長:西川 精宣

委員:河本 昌志 坂口 嘉郎 澤 智博 森松 博史

オブザーバー:白石 義人

[偶発症例(肺塞栓)専門部会]

部会長:森松 博史

部会員:入田 和男 黒岩 政之 讃岐美智義 津崎 晃一 中塚 秀輝

オブザーバー:中村 真潮 (外部委員) 宮脇 卓也

[JSAPIMS 周術期情報システム専門部会]

部 会 長：澤 智博
部 会 員：讃岐美智義 萩平 哲
オブザーバー：足立 健彦

[医薬品適正評価対策専門部会]

部 会 長：西川 精宣
部 会 員：岩崎 達雄 奥田 泰久 北村 晶 白石 義人 中馬理一郎

[CCP 専門部会]

部 会 長：河本 昌志
部 会 員：大嶽 浩司 横田 美幸

[麻酔機器・麻酔手技安全対策専門部会]

部 会 長：坂口 嘉郎
部 会 員：佐和 貞治 祖父江和哉 萩平 哲 松本 尚浩

◆ 気道確保ガイドライン検討ワーキンググループ

W G 長：市川 高夫
メ ン バ ー：磯野 史朗 佐和 貞治 祖父江和哉 西脇 公俊
萩平 哲 福田 和彦

◆ ICD 制度協議会加盟ワーキンググループ

W G 長：河本 昌志
メ ン バ ー：稲垣 喜三 白石 義人 森本 裕二

◆ 安全な中心静脈カテーテル挿入の手引き改訂ワーキンググループ

W G 長：西脇 公俊
メ ン バ ー：河本 昌志 佐倉 伸一 柴田 康之 竹内 護
田中 克哉 徳嶺 譲芳

◆ 悪性高熱症ガイドラインワーキンググループ

W G 長：河本 昌志
メ ン バ ー：磯野 史朗 市原 靖子 菊地 博達 向田 圭子

【広報委員会】担当常務理事：萬 知子

委 員 長：萬 知子
副 委 員 長：上山 博史
委 員：稲垣 喜三 加藤 里絵 坂本 篤裕 坪川 恒久
藤中 和三
オブザーバー：上村 裕一

< 特別委員会 >

【周術期管理チーム委員会】

委 員 長：落合 亮一
副 委 員 長：川前 金幸
委 員：足立 健彦 稲田 英一 近江 禎子 大嶽 浩司 河本 昌志
上村 裕一 木山 秀哉 齋藤 繁 中塚 秀輝 森崎 浩
外 部 委 員：石橋まゆみ 萱島 道德 栗田 浩 柴田ゆうか 関谷 秀樹
中田 諭 原田 俊和 平野 博美 舟越 亮寛 三枝 典子
峯村 純子 宮地 哲也

[審査委員会]

委 員 長：落合 亮一

副委員長：稲田 英一 佐和 貞治
委員：上村 裕一 土田 英昭
外部委員：平野 博美 三枝 典子

◆ 認定ワーキンググループ

WG 長：森崎 浩
メンバー：稲田 英一 木山 秀哉
外部委員：柴田ゆうか 舟越 亮寛 宮坂 善之

◆ 試験問題作成ワーキンググループ

WG 長：落合 亮一
メンバー：飯田 良司 石川 岳彦 印南 靖志 上嶋 浩順 角山 正博
草間 宣好 小坂 康晴 近藤 一郎 佐藤 健治 柴崎 雅志
田中 聡 田中 直文 長崎 剛 新山 幸俊 丹羽 康則
橋口さおり 原 芳樹 古井 郁恵 坊垣 昌彦 間宮 敬子
武藤 理香 山浦 健 山口 嘉一 萬 知子

◆ テキスト作成ワーキンググループ

WG 長：河本 昌志
メンバー：川股 知之 鈴木 利保 角倉 弘行 坪川 恒久 藤原 祥裕
森松 博史

◆ セミナーワーキンググループ

WG 長：木山 秀哉
メンバー：上山 博史 川股 知之 中塚 秀輝

【麻酔博物館事業検討委員会】担当常務理事：齋藤 繁

委員長：木内 恵子
副委員長：齋藤 繁
委員：奥富 俊之 菊地 博達 武田 純三 土手健太郎 牧野 洋
松木 明知
館長：釘宮 豊城

[ISHA 誘致検討専門部会]

部会長：菊地 博達
委員：奥富 俊之 齋藤 繁 土手健太郎 中田 善規 牧野 洋
松木 明知

【利益相反委員会】

委員長：齋藤 繁
副委員長：萬 知子
委員：鈴木 健二

【支部委員会】

委員：牛島 一男 尾崎 眞 川前 金幸 鈴木 利保 西川 精宣
山崎 光章 横山 正尚

【支部運営委員会】

(北海道・東北支部)

支部長：川前 金幸
学術委員：廣田 和美 森本 裕二
委員：石川 岳彦 五十洲 剛 枝長 充隆 鈴木 昭広 鈴木 健二
住田 臣造 高畑 治 長尾乃婦子 星 邦彦 堀口 剛
山内 正憲 山蔭 道明

(東京支部)

支 部 長：尾崎 眞
総務委員：坂本 篤裕 山崎 隆史 萬 知子
学術委員：稲田 英一 小森万希子 鈴木 孝浩 寺嶋 克幸
教育委員：上園 晶一 内野 博之 前原 康宏
広報委員：澤村 成史 森崎 浩 横田 美幸

(関東・甲信越支部)

支 部 長：鈴木 利保
総務委員：岡本 浩嗣 鈴木 宏昌
学術委員：奥田 泰久 川真田樹人 舘田 武志 津崎 晃一
教育委員：北村 晶 小坂橋俊哉 齋藤 繁 竹内 護
広報委員：磯野 史朗 照井 克生 山口 重樹

(東海・北陸支部)

支 部 長：山崎 光章
総務委員：岡崎 敦 白石 義人 中島 芳樹
学術委員：小澤 章子 鈴木 照 土田 英昭 西田 修 宮部 雅幸
教育委員：飯田 宏樹 西脇 公俊 藤原 祥裕
広報委員：重見 研司 祖父江和哉 谷口 巧

(関西支部)

支 部 長：西川 精宣
学術委員：足立 健彦 横野 諭
教育委員：溝渕 知司
広報委員：上山 博史
委員：川口 昌彦 川股 知之 木内 恵子 北川 裕利 佐和 貞治
中尾 慎一 廣瀬 宗孝 広田 喜一 福田 和彦 南 敏明

(中国・四国支部)

支 部 長：横山 正尚
学術委員：田中 克哉 中塚 秀輝 森松 博史
委員：稲垣 喜三 内田 博 加藤 道久 河本 昌志 齊藤 洋司
白神豪太郎 高崎 康史 鷹取 誠 松本美志也 森脇 克行
萬家 俊博

(九州支部)

支 部 長：牛島 一男
総務委員：有村 敏明 外 須美夫 山本 達郎
学術委員：上村 裕一 北野 敬明 坂口 嘉郎
教育委員：垣花 学 川崎 貴士 山浦 健
広報委員：瀬尾 勝弘 恒吉 勇男 原 哲也

8. 2015年度関連諸団体委員等一覧

【日本医師会】

疑義解釈委員会：齋藤 繁

【日本医学会】

評 議 員：外 須美夫
連絡委員：稲田 英一
医学用語委員：小竹 良文
代 委 員：鈴木 孝浩
利益相反委員：横田 浩史

【厚生労働省医道審議会標榜医審査会】

委員：稲田 英一 森本 裕二 工藤 一大 土田 英昭
中尾 慎一 西脇 公俊 上村 裕一 萬 知子

【日本専門医機構麻酔科領域専門医委員会】

委員長：上村 裕一
委員：山田 芳嗣 山口 重樹 小坂橋俊哉 重見 研司
中尾 慎一

【日本専門医機構麻酔科領域研修委員会】

委員長：大嶽 浩司
委員：森松 博史 鈴木 健二 藤野 裕士 香取 信之
榎田 浩史 重見 研司 恒吉 勇男 横田 美幸

【外科関連学会協議会】

委員：齋藤 繁 落合 亮一 森崎 浩
懇談会：鈴木 宏昌 竹内 護 佐藤 哲文

【外科系医学会社会保険委員会連合】

処置委員会委員：岩瀬 良範
検査委員会委員：土井 松幸
実務委員会委員・手術委員会委員：横田 美幸
手術委員会（コーディングWG）：澤 智博
手術委員会（医療材料・医療機器WG）：土井 松幸
麻酔委員会：山田 芳嗣 落合 亮一 横田 美幸 岩瀬 良範

【日本救急医療財団】

理事：花岡 一雄
心肺蘇生法委員会委員：多田 恵一

【日本蘇生協議会】

理事：多田 恵一

【3学会合同呼吸療法士認定委員会】

派遣委員：落合 亮一 川前 金幸 中澤 弘一 妙中 信之
山田 芳嗣

【日本歯科麻酔学会】

監事：小坂橋 俊哉

【全国MC協議会連絡会世話人会】

世話人：多田 恵一

【全国医療安全共同行動】

委員：西脇 公俊

【禁煙推進学術ネットワーク】

委員：西脇 公俊

【日本医療安全調査機構】

委員：西脇 公俊

【医療ガス設備等安全確保に係る問題検討委員会】

委 員：白石 義人

【ISO/TC121 国内委員会】

委 員：森松 博史

【人工臓器治療関連学会協議会】

委 員：藤野 裕士

【臓器移植関連学会協議会】

委 員：齋藤 繁

【緩和ケア普及啓発事業関連団体協議会】

委 員：齋藤 洋司

【抗血栓療法中の区域麻酔・神経ブロック ガイドライン作成ワーキンググループ】

委 員：佐倉 伸一 角倉 弘行 森松 博史 中本 達夫

【World Federation of Societies of Anesthesiologists (WFSA)】

Executive Committee：稲田 英一

○Permanent Committees

Constitution：大嶽 浩司

Publications：廣田 和美

Safety and Quality of Practice：前川 信博 瀬尾 勝弘

Scientific Affairs：土田 英昭

○Subspecialty Committees

Pain Relief：長櫓 巧 細川 豊史

○Working Party

Manpower Committee：山蔭 道明

Professional Wellbeing Working Party：森田 潔

【Asian and Australasian Regional Section (AARS)】

Treasurer：大嶽 浩司

9. 事 業 監 查 報 告 書

監 査 報 告 書

公益社団法人 日本麻酔科学会
理事長 外 須美夫 殿

2016年 4月 21日

公益社団法人 日本麻酔科学会

監 事

西川 俊昭



私、西川 俊昭 は、監事として独立の立場から、2015年4月1日から2016年3月31日までの2015年度事業における理事の職務の執行に関し監査を行い、その結果について、次のとおり報告致します。

1 監査の方法の概要とその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めました。同時に、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、事業報告について検討致しました。

2 監査意見

業務に関する監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認められます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三 次年度業務遂行に向けて、別紙添付の監査意見書記載の点について、検討・改善を求めます。

(以上)

監査報告書

公益社団法人 日本麻酔科学会
理事長 外 須美夫 殿

2016年 4月 21日

公益社団法人 日本麻酔科学会

監事 榎田浩史 

私、榎田浩史は、監事として独立の立場から、2015年4月1日から2016年3月31日までの2015年度事業における理事の職務の執行に関し監査を行い、その結果について、次のとおり報告致します。

1 監査の方法の概要とその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めました。同時に、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、事業報告について検討致しました。

2 監査意見

業務に関する監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認められます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三 次年度業務遂行に向けて、別紙添付の監査意見書記載の点について、検討・改善を求めます。

(以上)

監 査 報 告 書

公益社団法人 日本麻酔科学会
理事長 外 須美夫 殿

2016年 4月 21日

公益社団法人 日本麻酔科学会

監 事 村川 雅洋 

私、村川 雅洋 は、監事として独立の立場から、2015年4月1日から2016年3月31日までの2015年度事業における理事の職務の執行に関し監査を行い、その結果について、次のとおり報告致します。

1 監査の方法の概要とその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めました。同時に、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、事業報告について検討致しました。

2 監査意見

業務に関する監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認められます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。
- 三 次年度業務遂行に向けて、別紙添付の監査意見書記載の点について、検討・改善を求めます。

(以上)